

議案第28号別紙

教委総 第 号
平成28年 月 日

松伏町立小中学校学区審議会 会長 様

松伏町教育委員会
委員長 若盛 正城

松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について（諮問）

松伏町立金杉小学校の児童数は減少傾向にあり、平成28年5月1日現在の推計によれば、平成30年度には全ての学年が単学級となり、平成34年度の新入学児童は18名となります。

このまま児童数が減少し続け、2学年合わせて16名以下（1年生を含むときは8名以下）となった場合には、複式学級を編制することも想定されます。

このことから、将来的に複式学級を編制することなく小規模校の活性化を図るため、下記の事項について貴審議会の意見を求めます。

記

1 通学区域の弾力的運用の実施について

小学校の進学先については、松伏町立小中学校通学区域に関する規則第2条の規定により、住所地により定められる。

金杉小学校において将来的に複式学級を編制することのないよう、特色ある教育を実施する小規模校の活性化を図る小規模特認校制度を実施し、通学区域の弾力的運用を行い、小規模特認校への通学を希望する保護者及び児童に対しては金杉小学校への通学を認めること。

2 中学校進学時の取り扱い

中学校の進学先については、松伏町立小中学校通学区域に関する規則第3条の規定により、住所地により定められるが、他の通学区域から金杉小学校に通学した児童の進学先については、原則として住所地により指定するが、保護者及び児童の希望により松伏中学校への通学を認めること。